

BELLUNA

Business Report 2013 *ベルーナ*

第37期 株主通信

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)



▲ BELLUNA 藤沢店

▶ ポケットデザイン美シルエットシャツ

こだわりのチェック柄で大人カジュアルを演出する表情豊かな美人シャツ。サラリとした肌ざわりの綿100%素材で、店舗でも人気の商品となっています。





ポートフォリオ経営の拡大を通じて、第二次短期経営計画の実現を目指します。

当期の概況

当期の連結ベースの売上高は、前年同期比6.9%増の1,178.8億円となりました。主力の総合通販事業や専門通販事業に加え、ファイナンス事業が順調に売上を伸ばしたことなどによるものです。

利益面では、ファイナンス事業での貸倒引当金繰入

額の増加などにより、営業利益は70.8億円(同4.4%減)となりましたが、経常利益は、前期に計上した為替差損が為替差益に転じたことなどにより89.1億円(同24.6%増)と大幅増となりました。それに伴い当期純利益も58.7億円(同36.7%増)となりました。

財政状態については、有形固定資産や投資有価証券

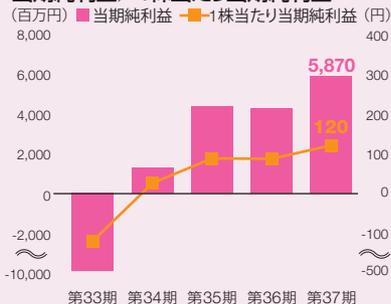
売上高



営業利益



当期純利益 / 1株当たり当期純利益



が増加したことにより、総資産は前期末比159.1億円増加の1,150.8億円となりました。一方、負債は同101.0億円増加の484.7億円となりました。純資産は同58.1億円増の666.1億円となり、自己資本比率は57.9%となりました。

当社を取り巻く環境

当期の国内経済は、復興需要があったものの、欧州や新興国の景気減速に加え、日中関係の悪化などもあり、景気の先行きに不透明な状況が続いておりましたが、昨年末以後円安や株高の進行など、わが国経済にとっては明るい兆しも見え始めております。

通信販売の市場規模は5兆円を突破し、拡大が続いています。新規参入企業の増加により競争が激化している一方で、通販代行などのビジネスチャンスの拡大

につながっており、全体としてはスマートフォンの普及もあり今後も成長が加速する業界であると言えます。

第一次短期経営計画の成果と反省

当社は、「①データベース関連事業の強化」、「②二次活用事業の立ち上げおよび強化」、「③財務健全性の強化」、「④コンプライアンス・ガバナンス体制の維持・強化」、「⑤安定した株主還元」を基本方針として短期経営計画の達成に取り組んでまいりました。

「①データベース関連事業の強化」では、総合通販事業、専門通販事業、ソリューション事業を「データベース関連事業」と位置付け、3事業の成長性と収益性の実現に注力してまいりました。この結果、3事業の売上高が増益に転じるとともに毎期5%以上の伸び率を確保しており、着実に強化されています。

総資産

(百万円)



純資産

(百万円)



ROEおよびROA

(%)



「②二次活用事業の立ち上げおよび強化」では、店舗展開や卸売事業などの新たな事業の育成に取り組んでまいりました。店舗事業は、平成25年3月末に10店舗体制となりました。

「③財務健全性の強化」では、有利子負債の圧縮に努め、ネットキャッシュがプラスに転じました。また、純資産も年々積み上がっており、自己資本比率も60%前後の水準となりました。

「④コンプライアンス・ガバナンス体制の維持・強化」につきましては、従来のコンプライアンス・ガバナンス体制に追加して、平成23年4月に執行役員制を導入し、より強固なガバナンス体制が構築されております。引き続きコンプライアンス・ガバナンスを重要な経営課題の一つと位置付け、継続して取り組んでまいります。

今後の見通し

第一次短期経営計画の状況と外部環境の変化を踏まえた上で、当社は、“通信販売総合商社”というビジネスモデルを熟成すべく、「①ポートフォリオ経営の強化」、「②新たな事業の成長促進」、「③通販インフラの整備」、「④株主還元の見直し」を基本方針として、平成28年3月期に売上高1,600億円、営業利益120

億円の達成を目指す第二次短期経営計画に取り組んでまいります。

株主還元に対する考え方

当社は、企業価値の向上を通じて株主の皆様の日ごろのご支援に報いることを重要な方針として考えています。当期の配当は、年間配当15円を据え置きますが、次期については増配し、年間配当25円を予定しています。今後も、業績の状況および中期的な成長のための戦略的投資を勘案した上で、安定的な配当を実現してまいります。

当社は創業以来の方針である「顧客志向・顧客密着」を忠実に守り、お客様の衣食住遊を豊かにする商品・サービスを時代のニーズに合った形で提供し続け、多くのお客様に支持される企業を目指してまいります。

今後とも、当社および各事業へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月

代表取締役社長 安野 清

第二次短期経営計画(平成26年3月期～平成28年3月期)

経営基本方針

“通信販売総合商社”の熟成

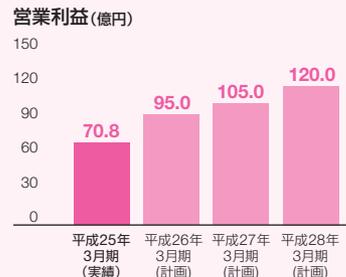
1. ポートフォリオ経営の強化

2. 新たな事業の成長促進

3. 通販インフラの整備

4. 株主還元の見直し

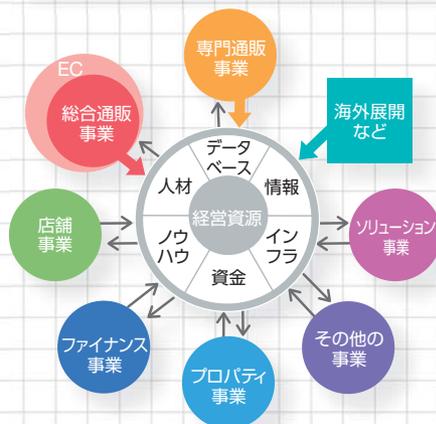
数値目標



ビジネスモデル

ベルーナは、総合通販事業で培った全国1,500万人以上の顧客データベースやコンタクトセンターおよび物流センターなどの通販インフラといった経営資源を保有しています。この強みを最大限に活かし、成長性と収益性が見込まれる専門通販、受託などの事業を展開してきました。今後も顧客志向・顧客密着を合言葉に、経営資源の有効活用によって様々なニーズに応えたサービスを展開する「通信販売総合商社」を熟成させてまいります。

※新規に店舗事業を事業区分に追加



新規事業によるビジネスチャンスの拡大

1



店舗事業の拡大を推進

当社は、平成23年11月よりカジュアル衣料の直営店舗「BELLUNA」を展開しています。ターゲット層は40～50代の女性ですが、親子3世代で来店されるお客様も多く、売上を順調に伸ばしています。ターゲット層のニーズに応えながらも、どの年代の人でも着られるアイテムを取り揃え、幅広い年齢層のお客様から支持を得ています。現在展開している10店舗に加え、今期は新たに20店舗の出店を計画しており、新規顧客の獲得、通販との更なる相乗効果を狙っていきます。



10 ベルーナららぽーと横浜店

※神奈川県横浜市にある大型ショッピングセンター「ららぽーと横浜」のイトーヨーカドー3Fにオープンしました。約93坪の店内にはおしゃれなアイテムを取り揃えています。

今期出店計画

20 店舗

店舗	ショッピングセンター	開店日
1 守谷店	イオンタウン守谷	平成23年11月10日
2 宇都宮店	ベルモール宇都宮	12月30日
3 川口店	アリオ川口	平成24年 2月24日
4 藤沢店	イトーヨーカドー藤沢店	10月20日
5 川崎店	イトーヨーカドー川崎店	11月 3日
6 港北店	港北東急S.C.	11月17日
7 飯能店	西武飯能ぺぺ	12月 8日
8 四つ木店	イトーヨーカドー四つ木店	12月22日
9 竹の塚店	イトーヨーカドー竹の塚店	平成25年 3月13日
10 横浜店	ららぽーと横浜店	3月23日



中国でワインの卸売事業を展開

当社は、4年連続でワイン通販国内売上シェア1位を獲得したノウハウを活かし、中国でワインの卸売事業を展開しています。中国のワイン消費量は平成22年に世界第5位となり、経済的な豊かさを背景に今後も需要の拡大が見込まれています。平成24年12月にワインバー「My Wine CLUB」1号店を上海にオープンしました。店舗を通じたブランド認知度の向上、新たなお客様の獲得に取り組み、好調な中国市場においてワイン事業の拡大を図ってまいります。



CHINA

西安

上海

杭州

中国におけるワイン消費量の推移

(千KL)
1,800

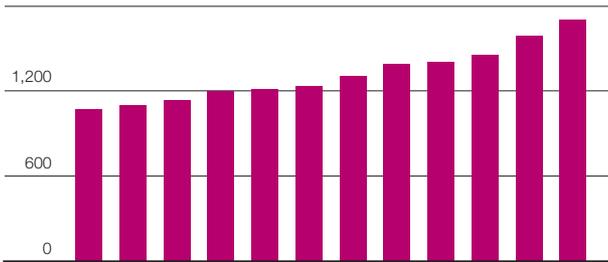
1,200

600

0

00' 01' 02' 03' 04' 05' 06' 07' 08' 09' 10' 11'

出所：OIV(世界ブドウ・ブドウ酒機構)



店舗紹介



上海市思南路107号
TEL 021-6473-2688
OPEN 11:00-24:00

※専任シェフによるフードメニューもあり。
ボトルワイン148元～
(1元約15円)

エリアは上海最新の流行スポット「田子坊」
地下鉄9号线打浦橋駅1番出口徒歩5分



RyuRyuのTV-CM続々放送

20～30代の女性をターゲットとした“RyuRyu（リュリュ）”では、平成24年8月から篠田麻里子さんをイメージキャラクターに起用し、関東エリアを中心にTV-CMを放送しています。平成25年4月からは、TV-CMの第3弾として、篠田麻里子さんが黒猫に扮していろいろなカワイさをアピールする『おしゃれ猫』篇を放送開始しました。

第1弾のTV-CMの放送後にブランドの認知度調査をしたところ、認知度が65.8%から83.9%に大きく上昇するという結果が出ました。今後も“RyuRyu”の認知向上とお客様のロイヤリティ向上を図り、事業の拡大を目指してまいります。



CM第2弾「飛行機」篇



CM第3弾「おしゃれ猫」篇

延べ3万坪の物流センター新設を決定

当社は、物流機能の強化を目的として埼玉県比企郡吉見町に延べ3万坪の物流センターを新設することを決定しました。新しい物流センターは、平成26年8月の稼働を予定しています。新たに物流センターを設けることで、分散していた商品を集約し、物流業務の効率化を図るとともに、注文当日に発送できる体制を整えます。



吉見物流センター完成イメージ図

PBワイン第二弾『ビジュ・ブリアン』シリーズ販売

ワイン通販国内売上高ナンバー1のワイン専門通販「My Wine CLUB(マイワインクラブ)」では、プライベートブランドワイン(PBワイン)の第2弾『ビジュ・ブリアン』シリーズを平成25年1月より販売開始しました。PBワインの第1弾『コンドール・アンディーノ』シリーズは、発売から約2年間で累計25万本が売れる人気商品となっており、第2弾としてフランスワインの『ビジュ・ブリアン』シリーズを開発しました。ワインの本場であるフランス各地の生産者の協力を仰ぎ、100種類以上のワインをテイastingして選び抜いた珠玉のワインです。



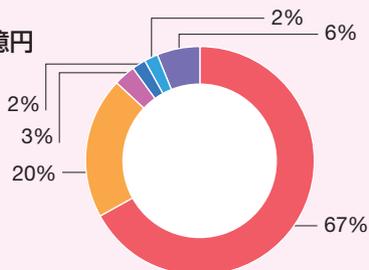
「多様な働き方実践企業(ゴールド)」に認定

当社は、平成24年7月に埼玉県の「多様な働き方実践企業」の第一回認定企業として「ゴールド企業」の認定を受けました。「多様な働き方実践企業」認定制度とは、複数の働き方を実践している企業等を埼玉県が認定しているものです。今後も、働きやすい環境の整備に努めてまいります。



連結売上高

1,178億円



総合通販事業

カタログやインターネットなどを媒体とするアパレル、雑貨、インテリア用品などの通信販売事業。特に若年層に向けてはインターネットやモバイル、スマートフォンを活用して展開

専門通販事業

グルメ・化粧品・健康食品・看護師用品などの専門分野に特化した通信販売事業

ソリューション事業

封入・同梱サービスや通販代行サービスなど、当社のデータベースやインフラを活用した受託事業

ファイナンス事業

通信販売事業の顧客を主な対象としたB to Cファイナンス事業、および事業会社向けのB to Bファイナンス事業、韓国でのファイナンス事業

プロパティ事業

オフィスビルなどの賃貸、および再生・開発を手掛ける不動産事業

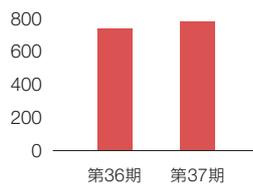
その他の事業

和装関連の販売事業および商品企画のノウハウを活用した卸売事業

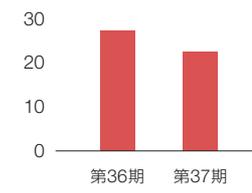
総合通販事業

衣料品や家庭用品が順調に売上を伸ばし、売上高は786.3億円（前年同期比5.8%増）となりました。セグメント利益は、物流関連コストの上昇などで22.6億円（同18.0%減）となりました。

売上高 (億円)



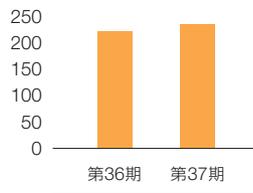
セグメント利益 (億円)



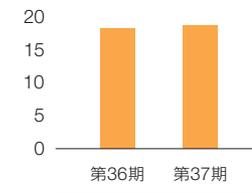
専門通販事業

化粧品と看護師向け事業が順調に売上を伸ばしたことなどにより、売上高は235.4億円（同5.4%増）、セグメント利益は18.7億円（同2.6%増）となりました。

売上高 (億円)



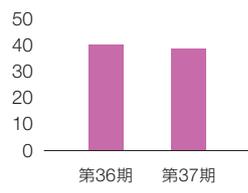
セグメント利益 (億円)



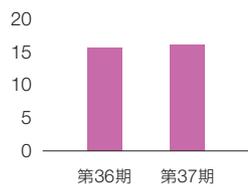
ソリューション事業

封入・同梱サービスは堅調に推移したものの、大口クライアントの取引縮小で通信販売代行サービスが苦戦したことにより、売上高は38.8億円（同3.4%減）、セグメント利益は16.2億円（同2.7%増）となりました。

売上高 (億円)



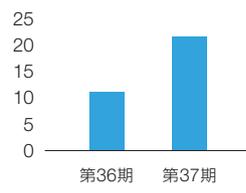
セグメント利益 (億円)



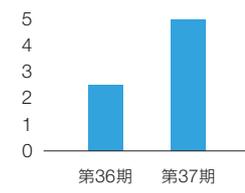
プロパティ事業

販売用不動産の売却により、大幅な増収増益となり、売上高は21.6億円（同94.3%増）、セグメント利益は5.0億円（同102.9%増）となりました。

売上高 (億円)



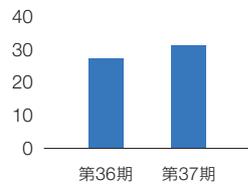
セグメント利益 (億円)



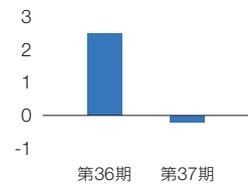
ファイナンス事業

消費者金融事業主体で営業貸付金残高を伸ばした結果、売上高は31.3億円（同14.5%増）となりました。一方でセグメント利益は、貸倒引当金繰入額が増加したことにより、0.2億円の損失（前期は2.5億円の利益）となりました。

売上高 (億円)



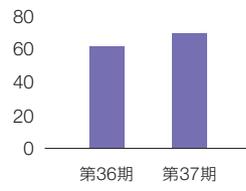
セグメント利益 (億円)



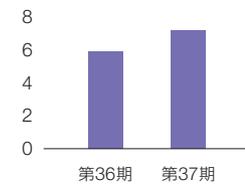
その他の事業

フレンドリー（株）、（株）BANKAN、（株）わものやの3社とも順調に売上を伸ばした結果、売上高は69.8億円（同13.0%増）、セグメント利益は7.2億円（同22.1%増）となりました。

売上高 (億円)



セグメント利益 (億円)



連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨)

	第37期 平成25年3月31日現在	第36期 平成24年3月31日現在
資産の部		
流動資産	65,091	58,292
現金及び預金	14,833	12,959
受取手形及び売掛金	11,444	11,493
営業貸付金	16,457	14,273
商品及び製品	12,754	9,848
販売用・仕掛販売用不動産	3,915	3,309
その他	7,022	7,655
貸倒引当金	△1,337	△1,246
固定資産	49,987	40,881
有形固定資産	35,230	28,587
建物及び構築物	12,192	11,258
土地	19,646	16,429
その他	3,391	900
無形固定資産	3,896	3,998
投資その他の資産	10,860	8,295
投資有価証券	7,099	2,379
長期貸付金	1,642	1,880
破産更生債権等	2,776	3,692
その他	1,599	2,654
貸倒引当金	△2,257	△2,312
資産合計	115,079	99,174

【資産合計】

資産合計は前期末に比べ15,904百万円増加しました。これは、商品が増加したことに加え、投資有価証券や有形固定資産の増加によるものです。

(単位：百万円未満切捨)

	第37期 平成25年3月31日現在	第36期 平成24年3月31日現在
負債の部		
流動負債	38,723	27,718
支払手形及び買掛金	17,052	14,852
短期借入金	7,456	2,560
未払費用	6,740	6,319
その他	7,473	3,986
固定負債	9,743	10,650
長期借入金	5,783	6,983
利息返還損失引当金	1,149	1,610
その他	2,810	2,056
負債合計	48,466	38,369
純資産の部		
株主資本	66,835	61,915
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,003	11,003
利益剰余金	54,900	49,761
自己株式	△9,675	△9,456
その他の包括利益累計額	△222	△1,110
少数株主持分	0	0
純資産合計	66,612	60,805
負債純資産合計	115,079	99,174

【負債合計】

負債合計は前期末に比べ10,097百万円増加しました。これは主に、短期借入金や支払手形および買掛金が増加したことによるものです。

【純資産合計】

純資産合計は66,612百万円となり、前期末に比べ5,807百万円増加となりました。この結果、自己資本比率は57.9%となりました。

連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨)

	第37期 自平成24年4月 至平成25年3月	第36期 自平成23年4月 至平成24年3月
売上高	117,884	110,300
売上総利益	65,719	61,621
販売費及び一般管理費	58,638	54,215
営業利益	7,080	7,406
営業外収益	2,056	864
営業外費用	226	1,119
経常利益	8,910	7,151
特別利益	88	—
特別損失	24	365
税金等調整前当期純利益	8,974	6,785
法人税、住民税及び事業税	3,077	1,077
法人税等調整額	26	1,413
少数株主損益	0	0
当期純利益	5,870	4,294

【売上高】

総合通販事業や専門通販事業を中心に順調に売上を伸ばしたほか、プロパティ事業において販売用不動産の売却があり、売上高は前年同期比6.9%の増収となりました。

【営業利益】

専門通販事業およびプロパティ事業で増益となった一方、総合通販事業やファイナンス事業が減益となり、前年同期比4.4%の減益となりました。

【当期純利益】

前期に計上した為替差損が為替差益に転じたことなどにより、当期純利益は前年同期比36.7%増となりました。

連結包括利益計算書

(単位：百万円未満切捨)

	第37期 自平成24年4月 至平成25年3月	第36期 自平成23年4月 至平成24年3月
少数株主損益調整前当期純利益	5,870	4,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	596	157
為替換算調整勘定	290	296
その他の包括利益合計	887	453
包括利益	6,758	4,747

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨)

	第37期 自平成24年4月 至平成25年3月	第36期 自平成23年4月 至平成24年3月
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,275	11,269
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,633	299
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,114	△17,668
現金及び現金同等物に係る換算差額	47	△22
現金及び現金同等物の増減額	1,804	△6,121
現金及び現金同等物の期末残高	13,334	11,529

【現金及び現金同等物の増減額】

税金等調整前当期純利益が増加した一方で、営業貸付金が増加に転じ、営業活動の結果得られたキャッシュは7,275百万円となりました。有形固定資産の取得による支出、投資有価証券取得による支出等により投資活動の結果使用されたキャッシュは7,633百万円となりました。また、財務活動の結果得られた資金は2,114百万円となりました。これらにより、期末のキャッシュは前期末比1,804百万円の増加となりました。

カタログラインアップ

当社では、マインド年齢や趣味・嗜好に合わせ、総合型・専門型のカタログを実に年間30種類以上も発行しています。またインターネット・スマートフォンにも対応しています。



ベルーナ

ミセス向け
総合ファッション
カタログ

1



ルアール

30代向け
レディス
総合ファッション
カタログ

2



リュリュ

20代向け
レディス
総合ファッション
カタログ

2



ルフラン

ミセス向け
総合ファッション・
雑貨カタログ

1



素敵な生活

総合生活雑貨
カタログ

1



いきいき家族

食の専門カタログ

3



マイワインクラブ

ワイン専門カタログ

3



リフレ

サプリメント専門
カタログ

4



オージオ

化粧品専門カタログ

5



ナースリー

看護師専門
カタログ

6



ベルーナネット ショップ

belluna.jp



スマートフォン サイト

belluna.jp
ryuryu.jp
belluna.jp/interior
ozio.jp
goship.jp

【お問合せ】

※カタログをご希望の方は、カタログ横の番号1～6に合わせて右記へお問い合わせ下さい。

※お届けするカタログは最新号です。お時間がかかる場合がございますので予めご了承下さい。

1 0120-888-111

2 0120-04-4580

3 0120-307-963

4 0120-22-9299

5 0120-0210-10

6 0120-85-4679

株式の状況 (平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数 130,000,000株

発行済株式の総数 56,592,274株

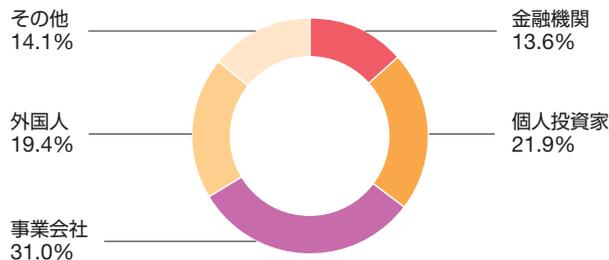
株主数(除く自己名義) 6,094名

大株主

大株主 (上位10名)	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社フレンドステージ	16,755	34.4
安野 清	5,467	11.2
ビービーエイチ フォー フィデリティー ロー プライズド ストック ファンド(プリンシパル オール セクター サポートフォリオ) 常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行	5,100	10.4
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社	2,027	4.1
安野 公	1,662	3.4
株式会社三井住友銀行	1,123	2.3
野村信託銀行株式会社	984	2.0
ベルーナ共栄会	956	1.9
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	773	1.5
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO 常任代理人 シティバンク銀行株式会社	594	1.2

注)信託銀行各行の持株数には、信託業務に係る株式が含まれております。

所有者別株式分布状況



会社の概要 (平成25年3月31日現在)

商号 株式会社ベルーナ

資本金 106億7百万円

代表者 安野 清(代表取締役社長)

創業 昭和43年9月

設立 昭和52年6月

従業員数 1,139名(連結)

事業内容 カタログ等による通信販売を核に、受託、金融、
卸売等の分野で展開する通販総合商社

ホームページ <http://www.belluna.co.jp/>

主な事業所

本社	(埼玉県上尾市)
本館	(埼玉県上尾市)
東京オフィス	(東京都新宿区)
アネックスビル・第2アネックスビル	(埼玉県上尾市)
北関東オーダーレセプションセンター	(埼玉県鴻巣市)
川越オーダーレセプションセンター	(埼玉県川越市)
領家丸山流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
宇都宮流通システムセンター	(栃木県鹿沼市)
領家山下クリニックセンター	(埼玉県上尾市)
領家山下流通システムセンター	(埼玉県上尾市)

役員(平成25年6月28日現在)

代表取締役社長	安野 清	取締役	生川 雅一
取締役	安野雄一朗	取締役	下川 英士
取締役	野村 育孝	常勤監査役	河原塚隆史
取締役	穴戸 順子	監査役	中村 勲
取締役	島野 武夫	監査役	渡部 行光

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 定時株主総会 6月下旬
- 基準日(定時株主総会関係) 3月31日
- 株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
〒100-8212
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
☎0120-232-711(フリーダイヤル)
- 公告の方法 電子公告により行う
<http://www.belluna.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた時には、
日本経済新聞に公告いたします。)

【お知らせ】

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 **ベルーナ**

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4番2号
TEL : 048-771-7753(代表)
(ホームページ)<http://www.belluna.co.jp/>



本誌は、森林環境に配慮したFSC
認証紙に植物インクを使用して
印刷しています。